

焼津市  
総合計画に関する市民意識調査  
調査結果報告書

令和3年3月

焼 津 市

# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査内容 .....	1
3	調査設計 .....	1
4	回収状況 .....	1
5	調査結果の表示方法 .....	1
6	性年代の補正 .....	2
7	調査の精度 .....	3
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>4</b>
1	回答者属性 .....	4
2	焼津市の住みやすさについて .....	8
3	自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて .....	17
<b>III</b>	<b>自由意見</b> .....	<b>34</b>
<b>IV</b>	<b>資料集</b> .....	<b>77</b>
1	集計表 .....	77
2	調査票 .....	107

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、第6次焼津市総合計画に掲載している施策の成果を把握することにより、今後の施策の検討資料とすることを目的としています。

## 2 調査内容

- 1 回答者属性
- 2 焼津市の住みやすさについて
- 3 自分や家族・地域の状況やそれに対する考え方などについて

## 3 調査設計

調査主体：焼津市

調査対象：18歳以上の男女

標本数：3,000人

抽出方法：基本台帳に登録している者及び外国人登録をしている者で、永住者又は特別永住者として焼津市の住民基本台帳に登録している者から等間隔無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収


調査期間：令和3年1月12日～令和3年2月5日

調査機関：株式会社 名豊

## 4 回収状況

発送数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,907通	63.6%

## 5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

## 6 性年代の補正

今回の市民意識調査回収結果については、焼津市全体の「性年代」別人口（母集団）からの偏りを補正計算して調査結果としています。

焼津市全体の「性年代」別人口※ <sup>1</sup>		回収		補正後		補正係数
		数	構成比(%)	数	構成比(%)	
男性 10代(18・19歳)	1,417	14	0.7	22.6	1.2	1.612
男性 20代	6,899	51	2.7	109.9	5.8	2.154
男性 30代	7,446	80	4.2	118.6	6.3	1.482
男性 40代	10,264	127	6.7	163.4	8.7	1.287
男性 50代	9,317	148	7.9	148.4	7.9	1.002
男性 60～64歳	4,226	103	5.5	67.3	3.6	0.653
男性 65～69歳	4,354	93	4.9	69.3	3.7	0.745
男性 70代以上	13,819	211	11.2	220.0	11.7	1.043
<b>男性合計</b>	<b>57,742</b>	<b>827</b>	<b>43.9</b>	<b>919.4</b>	<b>48.8</b>	<b>1.112</b>
女性 10代(18・19歳)	1,298	24	1.3	20.7	1.1	0.861
女性 20代	6,365	64	3.4	101.3	5.4	1.584
女性 30代	7,237	98	5.2	115.2	6.1	1.176
女性 40代	9,590	180	9.6	152.7	8.1	0.848
女性 50代	9,063	199	10.6	144.3	7.7	0.725
女性 60～64歳	4,103	98	5.2	65.3	3.5	0.667
女性 65～69歳	4,801	123	6.5	76.4	4.1	0.622
女性 70代以上	18,059	270	14.3	287.6	15.3	1.065
<b>女性合計</b>	<b>60,516</b>	<b>1056</b>	<b>56.1</b>	<b>963.6</b>	<b>51.2</b>	<b>0.912</b>
<b>合計</b>	<b>118,258</b>	<b>1883</b>	<b>100.0</b>	<b>1883.0</b>	<b>100.0</b>	
無回答※ <sup>2</sup>		24				

※<sup>1</sup> 令和2年12月31日現在の住民基本台帳人口です。

※<sup>2</sup> 「無回答」は、性別あるいは年代を尋ねる設問に回答していない方の数を表します。今回の集計は「無回答」を除いて集計しています。

## 7 調査の精度

この調査は、単純無作為抽出により対象者を定めたもので、標本誤差は以下の式で近似できます。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\sigma$  : 標本誤差

$N$  : 母集団

$n$  : 標本の大きさ

$P$  : 回答比率

変数 $\kappa$ は信頼率により決まり、信頼率90%ならば1.64とされます。

回答者総数(1,907人)を100%とする場合の質問で、信頼率を90%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下の通りとなります。

回答比率	標本誤差
50%	±1.86%
60%または40%	±1.82%
70%または30%	±1.71%
80%または20%	±1.49%
90%または10%	±1.12%

これは、例えば今回の調査においてある設問を単純集計した場合、その設問の「A」という回答が全体の50%であったとすれば、今回の調査の母集団(18歳以上の焼津市民全体:118,258人)に同じ設問をしても、統計学的には90%の確率で「A」の割合は、 $50 \pm 1.86\%$ の範囲内となり、精度は確保されていると言えます。